



ココファームだより

ドリームキッズ花南保育園
令和5年7月10日配信

幼児クラス、すみれぐみの夏野菜もすっかり大きくなり、収穫することを楽しんでいる子どもたち。
毎日の水やりも、引き続き頑張っておこなっています。

先月は畑でじゃがいもの収穫をしました。種芋からじゃがいもに育つまではあっという間ですね。子どもたちも大きなじゃがいもに大喜びでした。また、5日にはとうもろこしの収穫をしました。種を植えて水やりをし苗を育てたことが、つい昨日のことに感じます。

じゃがいも掘り



すみれぐみの子どもたちも、手を土で真っ黒にしなが
らじゃがいも掘りを楽しみました。
土の感触を楽しむ経験を、乳児期から大切にしてい
ます。



自分たちで10個のじゃがいもを袋に入
れました。自分で収穫した物を持ち帰
ることができる喜びを感じながら、より大
きなじゃがいもを探したり、数を数えたり
していました。
数を数える経験や、形や大きさの違いに
気付くことを、興味のある遊びや活動の
中で経験できるようにしたいと考えてい
ます。

夏野菜の水やりと収穫



当番活動として水やりを頑張ってきた子ども達。今年は昨年よりもたくさんの野菜が実り、今は毎日のように収穫をおこなっています。大きなきゅうりに「見てー！すごい大きい！」と大喜びの子ども達。すみれ組さんは収穫したミニトマトにみんなで触れてみていました。

収穫した野菜は、調理室へ持っていき給食で提供してもらっています。なすの味噌汁や、ツナとトマトのスパゲッティなどの料理に入れて提供されることもあれば、カットトマトやスティックきゅうりなどで提供されることもあります。苦手なものも自分たちで育てた野菜だと知ると、食べてみようという気持ちになり、自分で口に運ぶことができます。



とうもろこしの収穫

大きなとうもろこしはどれかな？と、一生懸命探す子どもたち。長い葉っぱをよけながら、力いっぱいとうもろこしをもぎ取りました。次の日には、「おうちで食べたら甘かったよー！」「自分で皮をむいたよ！」と教えてくれた子もいました。

